

令和2年4月24日

未来への扉 1

校長 平野 雅仁

葉桜の緑が鮮やかになり、今は、白やピンクのハナミズキの花がきれいに咲いています。つい外出をしたくなる陽気ですが、油断は禁物です。東京都の小池百合子知事は、新型コロナウイルスの拡大を受け、明日25日から大型連休最終日の5月6日までの12日間を「ステイホーム(家にいよう)週間」としました。「3つの密」を避けるために原則、皆さんも外出はしないようにしてください。

さて、約2カ月になる休校で、生活リズムが乱れてしまった人はいませんか？

今週は、学習コンテンツの紹介に加え、学習課題のプリントを時間割に合わせて用意しています。大切なことは、各教科の課題を計画的に少しずつでも毎日行うことです。今のこの期間に家庭学習の習慣をきちんと身に付け、学校再開後の学校生活の準備をしっかり整えておいてください。

来週4月27日(月)から各学年の先生方が、皆さんの家庭に電話連絡を行います。困っていることや悩んでいることがあったら、先生方に伝えてください。私も皆さんの役に立てることがあれば、積極的に相談に乗りたいと思います。

これから定期的にホームページに「校長からのメッセージ」を掲載していきますので、参考にしてください。

お薦めの本

1. 『ミライの授業』 瀧本 哲史著 講談社

本の帯には、「これは14歳に向けた〈冒険の書〉であり、大人たちが知るべき〈教養の書〉である。」とあります。

私も読んでみて。

【2限目 冒険には「地図」が必要だ】

2015年ノーベル生理学・医学賞を受賞した大村智氏が、まだ誰も手を付つけていない「空白地帯」に仮説を立てようとして、動物用医薬「イベルメクチン」を開発し、2億人の人たちを病魔から救った業績は、すごいと思いました。

2. スタディサプリ 三賢人の学問探求ノート ポプラ社

今を生きる学問の最前線読本

(1) 人間を究める 松尾 豊著 長谷川真理子著 廣野由美子著

(2) 社会を究める 若新 雄純著 水無田 気流著 小川 仁志著

(3) 生命を究める 福岡 伸一著 篠田 謙一著 柴田 正良著

私も読んでみて。

この本は、高校生に向けて、自分らしい進路選択を応援するために編集されたものとありますが、人が熱中し、その興味へとかき立てるものは、いつの年代も変わらずにあるものです。

「はじめは、小さな気づきだった。賢人たちの熱中のストーリーは、あなたたちにどんな気づきを与えてくれるでしょうか。このシリーズが、あなたなりの熱中と出会い、そして未来へとつながっていく、ひとつのきっかけとなりますように。」と「はじめに」に書かれています。私も生物学の福岡伸一先生の生命は、「動的平衡」(時の流れの中ですべてのものは劣化する。だからできるだけ長く生き続けるために、自分自身をどんどん壊し、入れ替えて、変化していくことが必要)という考え方に熱中しています。

3. 『ホーキング未来を拓く101の言葉』 榎本 誠二著 KADOKAWA

スティーブン・ホーキング氏は、2018年3月14日に76歳で亡くなりました。21歳でALS(筋萎縮性側索硬化症)を発症し、車椅子の生活から宇宙の謎について研究を続けた天才理論物理学者です。40代半ばから手足の不自由だけではなく、声を出す自由をも奪われたホーキング氏の最後の2年間の発言をまとめたものです。

私も読んでみて。

ロンドン・パラリンピックの開会式で、「いかに困難な人生でも、必ず達成できるものがある。足元ではなく、星を見上げよ。好奇心を抱け。」という言葉が印象的に残っています。他に「私は成長したことの無い子どもだ。未だに『どうして?』『なぜ?』という質問を続けている。たまに、その答えを見つけるがね」「思考を地球上の問題だけに限定すると、心も制限されるだろう。」「宇宙がどのように動いて、私たちがどこにいるのかを知るべきだ。そうすれば今抱えている心配がちっぽけだとわかるだろう。」など、珠玉の言葉に触れることができます。

外に出かけられない時だからこそ、興味のあることに時間を使うことも有効だと思います。これからも本や音楽、映画などを紹介していきたいと思います。